

報道関係各位

平成17年9月15日  
(財) 2005年日本国際博覧会協会  
地球市民村事務局  
特定非営利活動法人 ソムニード

愛・地球博「地球市民村」

収穫祭をシタールとタブラと尺八のコラボレーションで演出

「再生・カレーの森祭」のご案内

日時:9月20日(火)~22日(木) 12:00~、19:30~/会場:大地の広場

博覧会協会企画事業遊びと参加ゾーン「地球市民村」では、9月20日(火)~22日(木)(いずれも初回12:00~13:00/二回目19:30~20:30)に、「再生・カレーの森祭(もりまつり)」を開催いたします。

このイベントは、インドの収穫祭をモチーフにしたもので、“愛”と書かれたリンゴを来場者に手渡し、大地の広場に設けた祭壇にお供えしていただきます。この儀式を通して、カレーの原料となる新たなスパイスや果実の収穫を願う、すなわち「カレーの森の再生」を願うものです。この収穫祭を、インドの楽器シタールとサブラ、及び和楽器の尺八のコラボレーションによるセッションで演出いたします。

つきましては、是非ご取材賜りたくご案内申し上げます。

記

日 時 : 2005年9月20日(火)~22日(木)

初回 12:00~13:00 二回目 19:30~20:30

会 場 : 愛・地球博 長久手会場 遊びと参加のゾーン「地球市民村」大地の広場

参加方法 : 当日会場にて受付。

出 演 : シタール 田中峰彦(たなか・みねひこ)

          タブラ 田中理子(たなか・りこ)

          尺八 田路發天(とうじ・はってん)

以上

## ■ プロフィール

シタール 田中峰彦（たなか・みねひこ）

1983年シタールを始める。1988年インドに渡り、カルカッタにてシタールの巨匠・故ニキル・ベナルジーの直弟子で演奏家のアミット・ロイに師事。各地で演奏活動を行い、豊かな詩情とワイルドさをあわせもった演奏には定評がある。

タブラ 田中理子（たなか・りこ）

1989年インド各地を旅行中に北インド古典音楽の演奏を聴き、甘美かつスリリングな響き、とりわけタブラの豊かな音色・表現力に魅せられ、タブラをはじめ。田中峰彦氏のパートナーとしてなくてはならない存在。

尺八 田路發天（とうじ・はってん）

30歳を過ぎて尺八の音色に魅せられ、脱サラの後、虚無僧として全国縦断托鉢行脚に出る。その間芝居の座付奏者や映画音楽等様々な演奏を手がける。現在、飛騨の山里に尺八音楽公房を開き、作曲・竹笛の製作のかたわら、心身の疲労回復の為の音を追及中。